

地価は昨年と同水準で引き続き下落 (令和4年地価公示和歌山県内結果)

- ・平均変動率は、全用途、住宅地、商業地ともに平成4年から31年連続の下落である。
- ・平均変動率の下落率が、全用途、住宅地は横ばい、商業地は拡大した。
- ・価格上昇地点が、住宅地は昨年の4地点から5地点、商業地は昨年の1地点から2地点となった。
- ・価格上昇地点があるのは、住宅地で10年連続、商業地で9年連続である。
- ・和歌山市の商業地の平均変動率が、2年連続の下落で、下落率は拡大した。

1 全体

- ・県内23市町の180地点で、1月1日現在の価格を判定。
- ・全用途の平均変動率は△1.2%で、平成4年から31年連続の下落である。
- ・全用途の下落率は、昨年10年ぶりに拡大したが、本年は昨年と同じ△1.2%で横ばいとなった。
- ・前年からの継続地点178地点のうち、価格が上昇した地点は7地点、横ばいの地点は34地点、下落した地点は137地点となっている。

区 分	用 途	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
上昇地点数	住宅地	10	9	13	12	4	5
	商業地	17	15	18	18	1	2
	全用途	27	24	31	30	5	7
横ばい地点数	住宅地	5	9	6	8	14	15
	商業地	4	9	6	9	23	17
	全用途	9	18	13	17	38	34
下落地点数	住宅地	96	95	92	90	95	92
	商業地	38	35	36	33	34	42
	全用途	137	135	132	126	133	137
継続地点合計	住宅地	111	113	111	110	113	112
	商業地	59	59	60	60	58	61
	全用途	173	177	176	173	176	178
平均変動率(%)	住宅地	△1.8	△1.5	△1.3	△1.2	△1.3	△1.3
	商業地	△1.4	△1.1	△1.1	△0.9	△1.1	△1.2
	全用途	△1.6	△1.4	△1.2	△1.1	△1.2	△1.2

2 用途別

(1) 住宅地

- ・平均変動率は $\Delta 1.3\%$ で、平成4年から31年連続の下落である。
- ・下落率は、昨年と同じ $\Delta 1.3\%$ で、横ばいとなった。
- ・価格上昇地点は、5地点（和歌山市1、海南市1、田辺市1、上富田町1、串本町1）で、価格上昇地点があるのは10年連続である。
- ・価格上昇地点は、津波被害の想定区域外の高台や区画整理された地域の地点である。
- ・価格横ばい地点は、15地点（和歌山市11、田辺市1、岩出市1、白浜町1、上富田町1）である。
- ・上富田町の平均変動率は 0.5% であり、8年連続で価格が上昇している。

(2) 商業地

- ・平均変動率は $\Delta 1.2\%$ で、平成4年から31年連続の下落である。
- ・下落率は、昨年に引き続き2年連続で拡大となった。
- ・価格上昇地点は、和歌山市の2地点で、価格上昇地点があるのは9年連続である。
- ・価格上昇地点は、和歌山市松島と和歌山市秋月で、近隣の商業ゾーンの開発や道路整備による交通量の増加による活性化の期待が高い地域周辺の地点である。
- ・価格横ばい地点は、17地点（和歌山市16、橋本市1）である。
- ・和歌山市の平均変動率は、昨年 $\Delta 0.1\%$ で7年ぶりに下落に転じ、本年 $\Delta 0.3\%$ で2年連続の下落となり下落率は拡大した。

(3) 工業地

- ・平均変動率は $\Delta 0.6\%$ であり、昨年より下落率は縮小した。

(4) 参考（平均変動率の全国・近畿内順位）

- ・都道府県別の本県の全国順位（変動率が高い順）は、住宅地が47位（昨年44位）、商業地が43位（昨年27位）である。
- ・近畿地方（2府4県）の中では、住宅地は6位（昨年5位）、商業地は6位（昨年3位）である。

（問い合わせ先）

和歌山県 企画部地域振興局 地域政策課
土地利用・水資源班 田畑・瀬戸
TEL 073-441-2423(直通)